

2017年2月号 / No.209 / 平成29年1月28日発行



# 野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



お立ち台！ ルリビタキ君 (撮影：加藤芳隆さん)

## 野鳥さが209号 主な内容

- 役員会報告 .....2ページ
- 支部からのお知らせ .....3ページ
- 各地の観察会報告 .....4ページ
- 有明海の満潮時刻 .....9ページ
- 皆さんからのおたより .....10ページ
- 観察会会場までの案内 .....11ページ
- 観察会などのお知らせ (2017年2月～3月) .....12ページ



## 役員会報告

(事務局:島田洋)

【日 時】2016年12月4日、12月25日、2017年1月22日

【出席者】(12/4) 宮原明幸、中原正義、田中丸雅雄、橋本泰博、加藤芳隆、蒲原留美、江口富美子、島田洋、青柳良子

(12/25) 宮原明幸、青柳良子、橋本泰博、加藤芳隆、馬場清、田中丸雅雄、蒲原留美、坂田紀子、島田洋

(1/22) 宮原明幸、青柳良子、佐久間仁、馬場清、橋本泰博、加藤芳隆、坂田紀子、江口富美子、蒲原留美、島田洋

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) 傷病鳥獣の受け入れについて

佐賀県から傷病鳥の一時預かりができるか打診され、実際にこれをしている兵庫県や千葉県の実態について宮原支部長が情報を集めた。

ハトからフクロウまでいろんな鳥獣が多数持ち込まれ、引き受けたらその業務はとんでもなく過酷なものである。佐賀県支部の現状では引き受けることは不可能といえる。県との協議においても、慎重に対応するべきだろう。

(2) 九州・沖縄ブロック大会について

次のブロック大会は筑豊支部担当で、5月20日～21日にかけて「英彦山青年の家」を会場として開催される。場所が近いこともあり、佐賀県支部からもより多く参加していきたい。

(3) ツルの全国飛来状況調査について

財団本部からマナヅル、ナベヅルの飛来状況調査についてのお願いがきている。佐賀県支部はツルの飛来状況についての調査を行い、協力していく。

(4) カラス調査(カウント)について

佐賀市環境課からの委託事業である。2月12日の午後4時から日没後までカウントする。城内公園を囲むように4か所でカウントする。観測者は6名確保。

(5) 双眼鏡購入について

支部の活動で、参加者に貸し出す双眼鏡をいくつかそろえたい。どのような双眼鏡を購入すべきか意見交換をした。

(6) その他、愛鳥普及活動(今年度の愛鳥モデル校活動についてはほぼ終了)、各種行事への協力体制、今後の行事予定などについての協議を行った。





## 支部からのお知らせ



### 1. ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

206号（7月末発行）でお知らせした以降の入会者を「大歓迎！」の気持ちを込めてご紹介いたします。

2016年12月	宮崎 明美さん（佐賀市）・川上 武彦さん（小城市） 宮原 史枝さん（佐賀市）
2017年1月	井手 昇さん・真喜子さん（小城市）・津山 悦子さん（佐賀市） 高木 宏子さん・義彦さん・創（はじめ）さん（佐賀市）
2月より	澁江 拓司さん（三養基郡）

以上 10 名の方が1月末現在でのご入会が確認されました。

佐賀県支部の会員は211名です。

これからも皆さんのお知り合いの方で「自然に関心のある方」がいらっしゃいましたら是非 野鳥の会入会のお誘いをしてください。

新会員の方！ 観察会でお目にかかれることを楽しみにお待ちしております！

### 2. 新年会のご案内

「とり年」2017年のスタートから早くも1ヶ月を過ぎようとしています。

とても寒い日が続いていますが、皆さん寒さに負けず観察を楽しんでいることでしょう。2016年は佐賀県支部にとっていろいろと波乱のある年でしたが、この頃は一時の停滞から抜け出し、新しい会員も増えつつあります。

これからの活動についてなどワイワイ楽しく語り合っ、2017年の活動に活かしていきましょう！

【日時】 2017年2月3日（金） 19:00～21:00

【場所】 「さかなや道場佐賀南口店」

佐賀市駅前中央 1-4 0952-27-8811

※西友のすぐ近くです。似た名前の「おさかな天国」という店がありますが間違えないようお願いします。

【参加費】 お一人 4,000円（飲み物代も含む）

【申し込み】 できるだけ1月末までに「青柳良子さん（090-1659-7353）」へ

★たくさんの方のご参加をお待ちしています。





## 各地の観察会報告



### ■巨勢川調整池観察会報告（佐賀市）

- ①【日時】 平成28年11月27日（第14回）  
【参加者】古川昌高、田中照美、津山悦子、加藤芳隆、青柳良子、蒲原留美、島田洋（案内役）  
【観察された野鳥】カンムリカイツブリ、カワウ、アオサギ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、オオバン、ドバト、ジョウビタキ、ホオジロ、スズメ、ハシブトガラス  
【案内役からの一言】  
前夜からずっと雨。朝になっても冷たい雨が降り続けていました。でも来る人が必ずいます。中止にしようか。でも池をちと見てみよう。調整池には無数のカモが浮んでいます。ものすごい数です。芝生には何百羽ものオナガガモの集団。上空にはカモの大編隊。フィールドスコープをかわるがわるのぞきながら観察を続けました。普段なら池の周囲2700mを一周しますが、今回は建物の外階段の下に留まっての池の観察でした。雨は止むことはなく観察会も1時間ほどで終了としました。水鳥にとって貴重な池です。大事にしていきたいと思います。

- ②【日時】 平成28年12月25日（第15回）  
【参加者】友岡周一、馬場清、橋本泰博、青柳良子、野上駿、深村徹、豊岡三郎、田中照美、川上武彦、古川昌高、福田康典、松田信義、川部静也、佛坂安恵、加藤芳隆、古賀郁香、高崎洋三、高崎由美、徳淵義実、津山悦子、宮崎明美、吉澤進、永島博、大川幸子、蒲原留美、長岡保、島田洋（案内役）  
【観察された野鳥】カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、アメリカヒドリ、ハシビロガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、ミサゴ、トビ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、イソシギ、ドバト、カワセミ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、セッカ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、アトリ、カワラヒワ、ムクドリ、カササギ、ハシボソガラス、ミヤマガラス  
【案内役からの一言】  
冬にしてはやや暖かく、晴天で絶好の観察日和です。グラウンドでは地区の皆さんがグラウンドゴルフに興じておられました。しばらく雨が続いたためか調整池の水面は、普段の倍ほどの面積に広がっています。広大な水面には無数の水鳥が浮かび実に壮観でした。トモエガモを見たい人がたくさん。そして橋本さんがアメリカヒドリを発見しました。参加者がフィールドスコープに群がります。一周が2700mの周回遊歩道を2時間半かけて回りました。今回は野鳥の種類も数も豊富で参加者の人数も多く、にぎやかな充実した観察会となりました。ここは実に貴重な観察フィールドです。これからも大事にしていきたいと思います。

## ■出水・ツルウォッチングツアー報告（鹿児島県）

①【日時】 平成28年12月10日～11日

【探鳥地】鹿児島県 出水・川内・伊佐

【参加者】青柳良子、江口富美子、加藤芳隆、金田京子、古賀郁香、長岡 保、橋本泰博、馬場清、山澤健一。宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】カンムリカイツブリ、カイツブリ、ウミウ、ツクシガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、オシドリ、ヨシガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、スズガモ、ウミネコ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、ハラサギ、クロツル、ナベツル、カナダツル、マナツル、オオバン、ハマシギ、イソシギ、タシギ、ミサゴ、トビ、ノスリ、ハイタカ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、キジバト、アオバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、ヒガラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役からの一言】

10人乗りのレンタカーで行って参りました。

出水は、死んだナベツルから鳥インフルエンザの陽性反応が出たとの報道もあり、極端に人が少なく貸し切り状態でした。お目当てのツルは、ナベツル・マナツル・カナダツル・クロツルと、今年渡来の全種観ることが出来ました。

穏やかな日和続きで、好い探鳥行でした。ただ、カラフトワシ・オオハヤブサが来なくなり、ちょっと寂しい気もしています。

---

## ■第214回森林公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成28年12月4日

【参加者】青柳良子、高山栄一、古川昌高、田中照美。中原正義、永島博、福田康典、宮原明幸、蒲原留美、江口富美子、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】カワウ、カイツブリ、アオサギ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、アメリカヒドリ、ハシビロガモ、オオバン、イソシギ、キジバト、ドバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、シジュウカラ、メジロ、アトリ、カワラヒワ、ムクドリ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役からの一言】

今日も雨です。森林公園はまだ工事中。どうするつもりだろう。

樹の枝に野鳥の群れ。アトリでした。公園の池の表面は赤い色をした水生植物に覆われていました。ウキクサの仲間でしょうか？ 水面にはマガモ、カイツブリ、オオバン、オカヨシガモ。雨がだらだらと降るので、早々と嘉瀬川の堤防に上がりました。カモやカワウの群れ。高山さんがアメリカヒドリを発見しました。オス1羽です。冷たい雨の中の観察会でしたが、こういう条件下での観察会も大事だと思います。



## ■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

①【日時】 平成28年12月18日

【参加者】宮原明幸、川原直嗣、中島修、中島由美子、徳淵義実、田中照美、青柳良子、青柳隆、豊岡三郎、江口富美子、福田康典、川部静也、川上武彦、友岡周一、長岡保、塘健、吉澤進、宮崎末徳、古賀郁香、古川昌高、永島博、橋本泰博、吉開富男、大川幸子、蒲原留美、加藤芳隆（案内役）、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヒドリガモ、マガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、クロツラヘラサギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ミヤコドリ、オオハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、アカアシシギ、アオアシシギ、トウネン、ハマシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、ハヤブサ、モズ、ヒヨドリ、ハクセキレイ

【案内役からの一言】

開始時刻が午前10時と遅いためか多くの人が集まる。晴天・無風で暖かく、絶好の天気です。潮高5.0mとやや低いため干潟が残る。

干潟には前日1400羽も数えられたツクシガモが一面に広がる。途中ハヤブサの若鳥が現われ、鳥たちは一斉に飛び立つ。ハマシギの乱舞に歓声上がる。本日のテーマは「カモ類を見よう」でしたが、潮が上がらずカモたちは近付かず、わずか4種しか確認されず。それでも東よか干潟のツクシガモ、クロツラヘラサギ、ズグロカモメと、最近常連となったミヤコドリは健在です。

天候に恵まれ快適な観察会でした。

②【日時】 平成29年1月15日

【参加者】高山英一、徳淵義実、吉澤進、川部静也、田中政和、田中智美、宮原明幸、江島忠麿、津山悦子、古賀郁香、佐藤政明、中村敦茂、中村悠紀、中村愛、田中照美、原秀親、久富文江、宮崎明美、加藤芳隆（案内役）、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヒドリガモ、マガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、ホシハジロ、アオサギ、クロツラヘラサギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ミヤコドリ、オオハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ツルシギ、アオアシシギ、トウネン、ハマシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ

【案内役からの一言】

晴天ではあるが寒波のため風が強い。それでも集合時刻の午前9時には20名の参加者が集まる。本日のテーマ、前日に確認された「マガン・ヒシクイを見よう」満潮まで2時間半、水際まで2kmと遠く、干潟上に鳥たちは少ない。まずは向かい風の中、西へ1.5km歩く。シチメンソウガード西端で観察するが、期待のマガン、ヒシクイは現れず。ズグロカモメとユリカモメの違いを観察。

潮も上がって、鳥たちも近付いてくる。水際にはクロツラヘラサギの採餌の様子



（写真提供：加藤芳隆さん）

や 12 羽のミヤコドリの群れを観察。 ダイシャクシギの群れの中にホウロクシギを見つける。最後にトウネンを見て、干潟が水没したところで観察会を終了する。

## ■朝日山 New Year 観察会報告（鳥栖市）

【日時】 平成 29 年 1 月 2 日

【参加者】 宮原明幸、江口勝高、小田雅男、青柳隆、青柳良子、田辺憲子、古賀郁香、古澤進、甲木弘美、千住利夫、中原正義、山下哲生、加藤芳隆、徳淵義実、久富文江、橋本泰博（案内役）

【観察された野鳥】 クサシギ、イソシギ、ハイタカ、ハヤブサ、キジバト、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ルリビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、ホオジロ、ミヤマホオジロ、アオジ、クロジ、カワラヒワ、アトリ、イカル、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ソウシチョウ

【案内役からの一言】

「今年は色んな場所で色んな鳥に出会い、たくさんの人との出会いもあったなあ」と思いながらグラスを傾けていたら、いつの間にか年が明ける。

「めでたい、めでたい」と喜びながら元旦の1日をテレビの前で飲んでいただけ、寝て起きたらもう2日の朝だった。

正月気分を振り払い、案内役の責任として一番で現着した。しかし、誰も来ないので、少し焦った。「やっぱり正月やもんな、炬燵ん方が気持よかもんなあ。」などと思っていたら、20分前になった頃から参加者が集まり始めた。

結局参加者は15人になり、ほっと一安心。朝日山でのポイントの一つは集合場所の駐車場。なにしろヤドリギの実を目当てにヒレンジャクがやって来ることがあるのだ。しかしイカル、ヒヨドリ、ツグミなど11種を数えたけれど、残念なことに本命の姿はなかった。来年に期待しよう。

さて、頂上下駐車場に向かったの登りは悲しかった。ツグミを始め、そこそこ鳥は飛び交っていたけれど、長くとまってくれる鳥がいなくて、一度もスコープをセットする場面がなかった。だから、あっという間に着いてしまったので、早く終わりすぎる心配をしたくらいだった。おまけに、この駐車場付近には鳥影なし。ジョウビタキ、カワラヒワは必ずいるのに・・・。

下り道ではウソがやってきていないかと目をこらし、鳥の声がないかと耳を澄ましたけれど、何ごともなく、下りも終わりにさしかかろうという頃だった。

アトリの集団を発見。たかがアトリ、されど救いのアトリ。ここで本日初めてスコープの出番。みんなでじっくりと観察。よく見る鳥だけれども、とてもきれいな色に歓声も上がった。案内役としては、とりあえず、良かった良かった。山を下りて川沿いの道に出たら、ここでは定番の（起死回生の）カワセミが顔を見せるはずだった。去年の観察会ではびっくりするほど愛想が良かったし、29日に下見した時にも顔を見せてくれたのに、肝心の日に限って出てこなかった。

必ずみんなが喜ぶ鳥なのに。残念！

それでも、ちょっと歩いたところで、クサシギやイソシギが出てきて、愛嬌者のジョウビタキも顔を見せてくれた。よく見かける鳥だけどスコープで見ると可愛さも格別。喜んで貰えたので良かった。それに、この観察会では今まで1度しか見られていないハヤブサが飛んできた。少し距離がある場所にとまった

けれど、みんなでしっかり見ることができた。

さあもうすぐ出発点に帰着という時、最後に大発見があった。 枯れかけた大木の幹にびっしりと大量のヒラタケ。 キノコは分かりにくいのだけれども、植物の目利きNさんのお墨付き。 みんな喜んで持ち帰った。きっと、正月早々に精進した参加者へのご褒美に違いない。

今回は特別珍しい鳥を見られたわけではなかったけれど、歩きながらの会話や、久しぶりの運動で楽しい1日を過ごすことができた。 それに、すてきなお土産もあったし・・・皆さん寒い中をご苦労様でした。

今年も、素晴らしい「とりどし」（鳥見年）になりますように！

## ■松浦河畔公園観察会報告（唐津市）

【日時】 平成29年1月3日

【参加者】 佐田秀文、佐田映子、加藤芳隆、片山亮、豊岡三郎、川原直嗣、古賀郁香、徳淵義実、江口富美子、江口義人、田中照美、久富文江、佐久間仁（案内役）

【観察された野鳥】 オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、ドバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、イソシギ、ウミネコ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ミサゴ、トビ、カワセミ、コゲラ、ハヤブサ、モズ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ

【案内役からの一言】

濃霧と冷たい強風でどうなるか心配しましたが、開会直前に陽が差し始めてほっと一息。ただ、堰の上下どちらもカモ類やカイツブリ類が非常に少なく、オオジュリンやホオジロの仲間も全く姿を見せず、少々寂しい観察会に。ただ、高圧鉄塔上を定席としたハヤブサを楽しんでもらいました。堰北側に多かったホシハジロやキンクロハジロ、スズガモが、ここ4、5年でいなくなってしまう気になっています。もしかしたら、カキ殻の堆積が目立つように、最近、松浦川河口部が浅くなってきていることが連動しているのかもしれない。



（写真提供：加藤芳隆さん）

## ■石井樋公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成29年1月22日

【参加者】 中原功喜、宮原明幸、吉澤進、川原直嗣、島田洋、徳淵義実、古賀郁香、田中照美、福田康典、永島博、古川昌孝、久富文江、高木宏子、高木義彦、服部二郎、西川正記、長岡保、江口富美子、加藤芳隆、青柳良子（案内役）

【観察された野鳥】 カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ミサゴ、バン、オオバン、イソシギ、キジバト、ピンズイ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、イカル、シメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス



### 【案内役からの一言】

水ものがたり館主催の観察会に野鳥の会も一緒に・・・ということで計画したのですが「冬型の気圧配置が強まり、雨か雪が降る」という天気予報のため、観察は無理かもしれないと思い、DVDを何枚か用意して出かけてみました。

開始時刻ごろになると意外にもパラついていた雨は止み、風も静かで、予定通りフィールドに出ました。

寒さのせいかわの姿は少なく、いつも水ものがたり館の周りでかなりの数が目につくスズメさえ1羽も見えません。それでも水の中にはオオバン・カイツブリ・マガモたちが目を楽しませてくれ、葉のない木の枝先には、イカルが2羽姿を見せてくれました。曇り空のため羽の色は少しくすんで見えますが、それでもスコープを覗いて「うわー きれい！」と感動の声をあげてくださった方には感謝！でした。カワセミやセキレイがよく観られる水辺には、3匹もの犬が駆けずり回っていてザンネン！野鳥の姿も少なめで、寒さも身に染みて来たため、早めに引き上げました。それでも鳥合わせでは初見のビンズイを含め本日は22種となりました。宮原支部長から冬鳥の渡りに関する話や4種のカラスの話・冬鳥の代表ジョウビタキの話などわかりやすい話で、初めて参加した方からは「面白かった！」との感想をお聞きしました。

DVDで「オシドリ」を観たあと、「本日の工作」は酉年にちなんで「パクパク鳥の帽子」を。この作品は二宮尚子さんが仕入れて来て教えてくださったものです。若い女性グループの参加もあり、賑やかな楽しい折り紙の時間となりました。



## 有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



2月	4(土)	1:44/4.4m	13:56/4.5m	3月	4(土)	0:42/4.9m	12:44/4.8m
	5(日)	2:55/4.1m	15:04/4.2m		5(日)	1:29/4.5m	13:25/4.4m
	11(土)	9:55/5.4m	21:52/5.3m		11(土)	8:51/5.2m	20:56/5.2m
	12(日)	10:31/5.5m	22:29/5.3m		12(日)	9:28/5.4m	21:35/5.4m
	18(土)	0:59/4.2m	13:05/4.3m		18(土)	0:01/4.8m	11:57/4.7m
	19(日)	1:47/3.8m	13:50/4.0m		19(日)	0:30/4.5m	12:24/4.4m
	25(土)	8:52/5.0m	20:46/5.1m		20(祝)	1:07/4.1m	12:58/4.0m
	26(日)	9:30/5.2m	21:29/5.3m		25(土)	7:36/4.6m	19:37/4.7m
					26(日)	8:18/5.0m	20:25/5.1m

### 満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

#### ■ 東よか海岸

潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！

#### ■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。）





# 皆さんからのおたより



## ●「とり年にちなんで」・・・塘 健さん（白石町）

頌春

莊嚴奇妙 雑色之鳥 白鶴孔雀 迦陵頻伽

共命之鳥 是諸衆鳥 昼夜六時 出和雅音

天空を恋ひて羽ばたく春のあけぼの

東 飛鳥

東より初春のひかり 飛ぶ鳥の羽ばたきごとくせせこまはす

西 白鳥

西うと今日は思ふ白鳥も東をさして飛びたつゆまた

南 朱雀

南渡のはるか琉球元朝を仰げばあけもどろの朱雀よ

北 白鶴

北より鶴鳴きて雄雄しん渡るるりひとよとさればれも舞はうど

天 青鸞

青鸞のたまごのあか冥冥乎蒼蒼と天おほなるかな



本年鳥の歳にちなるみ拙歌五首諸兄諸姉にたてまつる  
よこそ本年もこのう御願ひ申しあゝるばかりなり

二〇一七年元朝

塘 健 拜

↑  
塘健さんは佐賀新聞の短歌の選者の方です。「とり年」ということで、鳥に関する歌を送って頂きました。冒頭の部分はお経の一部のようで、極楽にいる鳥のことみたいです。意味は書かないでおきます。皆さん、ぜひとも調べてみてください。

← 橋間みち子さん（小城市）からのお便りです。昨年10月にいただき、前号の支部報に掲載するはずでしたが、紙面の都合で掲載できず、申し訳ございませんでした。

「野鳥さが」を送って下さってありがた  
うございます。もう5kgの重さになりま  
した。整理してみました。私の文が載  
った方は残してみよう。中村、さか  
さんのイラストも残すと残し。折り返  
たまで読んでみたい。月のあつみ  
あれやこれやといろいろ読んでみる  
が捨てたものがあります。読んでみる  
探鳥会に参加する時間なくなつた  
私です。野鳥のはずすは表  
紙は取り取った。冷蔵庫のドアに  
かきつけています。全部読みアソビ  
を書いて出してその後は廃棄処分  
することです。さういふと私は  
本にうまれそつたので。





# 観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

②2月5日 佐賀市・森林公園



③2/12 ⑥3/12 佐賀市・東よか干潟



④2月26日 佐賀市・林業試験場



⑤3月5日 小城市・小城公園



⑦3月26日 武雄市・宇宙科学館





## 観察会などのご案内 (2017年2月～3月)

### ①2月3日(金)

#### 支部新年会(佐賀市)

[時間&場所] 19:00～21:00

佐賀市駅前中央 1-4

「さかなや道場佐賀南口店」

[担当] 青柳良子さん(小城市) 090-1659-7353

※3ページに詳しい案内を掲載しています。

皆さんで鳥談議に花を咲かせましょう。

### ②2月5日(日)

#### 森林公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] 09:00

佐賀市久保田町 県立森林公園・北側駐車場

[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286

※工事の影響で環境が変わってしまいましたが、森林公園観察会は支部の原点です。みんなで盛り上げていきましょう。(森林公園主催での共催)

### ③2月12日(日) ⑥3月12日(日)

#### 東よか干潟(大授搦)観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00

佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台

[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225

加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560

[見どころ] 日本一と言われる水鳥の飛来地です。

思わぬ鳥の発見があるかも。昨年この時期はオオハクチョウやハシボソカモメ(観察会では不在)が観察されました。

### ④2月26日(日)

#### 林業試験場観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00

佐賀市大和町の県林業試験場駐車場

[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085

[見どころ] 工事で様変わりした森林公園に代わって人気の探鳥スポットに!

※当日は、林業試験場の建物は閉館しており、トイレは使用できません。

### ⑤3月5日(日)

#### 小城公園観察会(小城市)

[集合] 09:00 小城公園駐車場

[担当] 蒲原 留美さん(小城市) 090-5294-3103

青柳 良子さん(小城市) 090-1659-7353

[見どころ] 梅の花が見ごろの公園内で小鳥たちをウォッチング。レンジャク類が見られるといいですね。

### ⑦3月26日(日)

#### 宇宙科学館周辺観察会(武雄市)

[集合] 09:00 宇宙科学館・第3駐車場

(野鳥の会の旗を目印に)

[担当] 坂田 紀子さん(武雄市) 090-5746-2783

馬場 清さん(嬉野市) 090-1084-3852

[見どころ] 初めての観察地。池にはカモ類が、林の中にはカラ類が賑やかに囀っていることでしょう。

## 共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～

公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル

電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸

事務局：中村さやか (☎ 0954-60-4424 携帯：080-8863-5659)

〒849-1315 鹿島市三河内2974-1

郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」